



自民党 衆議院議員

月刊 さいとう健



10月号

平成25年10月15日発行

「自民党農林部会長
に就任！」

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。

大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。

零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。

日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。

平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。

平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。

平成24年衆議院総選挙において、千葉七区より二期目の当選。

環境大臣政務官を経て、現在、党農林部会長として農林業の国際競争力強化に奮闘中。

〔趣味〕 ハンドボール、カラオケ、読書、映画

〔好きな食べ物〕 ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おおたかの森支店裏)

〒270-0137 流山市市野谷665-40-103

TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224

E-mail : info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所

〒100-8981

千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室

TEL:03-3508-7221 FAX:03-3508-3221

この度、10月1日付で環境大臣政務官を退任いたしました。

在任中は、たび重なる国際会議で日本の主張を貫くなど地球規模での環境問題への取り組みはもとより、野田市での竜巻被害への対応や、除染、処理場建設のための予算の獲得など、地元への貢献も少しはできたのではないかと考えております。

また、10月4日付で自由民主党農林部会長を拝命いたしました。

自民党の部会長というのは、それぞれの分野の責任者で、野党時代は影の内閣の大臣に相当しておりました。通常は当選3～4回の方が就くポストだそうですが、皆様方のご支援のおかげで当選2期目で、環境部会長に次いで、2回目の部会長就任となりました。本当にありがたいお話です。

ただ、農林部会長のポストは、これまで農林政策を直接担当したことがなかった私にとりまして非常な驚きであります。「農林行政に新たな風を吹き込むように。」との高市政調会長の言葉に、責任の重さをずっしりと感じました。

まずは、年末までに決着を迫られるTPP交渉への対応があります。また、農地をリースによって集約化・大規模化するための農地バンク(農地中間管理機構)の設立も、この臨時国会で法案を通していかねばなりません。この政策は、あとがない農地集約化の切札として何としても成功させねばなりません。

来年1月からの通常国会に向けては、民主党が推し進めてきた戸別所得補償政策に代わる新たな経営安定対策・多面的機能確保対策を作りあげて実行に移していくつもりです。

(裏面へ続く)



「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構です。お問い合わせは後援会事務所まで。



「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざをつき合せて意見交換ができるミニ集会を、活動の原点としております。ぜひ企画してお呼びいただければ幸いです。



保護犬を引き取り、育てた
「災害救助犬」の救助訓練を視察。

さらには、農業を更なる付加価値を生む6次産業へ展開させることや輸出倍増などによって農業・農村所得の倍増を10年以内に実現するという公約もあります。

かように、現在の農林政策は難問が山積ですが、皆様方のご指導を賜りながら、謙虚に、かつ臆せず職責を何としても全うして参りたい。重ねてのご支援をお願い申し上げる次第です。

平成25年10月15日
衆議院議員 さいとう 健

☆コラム☆ 部会長人事の記事が、朝日新聞に連日掲載。

『衆院委員長、自民が内定』

自民党は4日、衆院常任委員長13人、特別委員長8人などを内定した。予算委員長にはベテランの二階俊博・総務会長代行を起用。15日召集の臨時国会で正式に選出される。

なお、党役員人事では政調会長代理を今の4人から1人増やし、平沢勝栄・元内閣府副大臣を充てた。農林部会長には元経産官僚の斎藤健衆議院議員。高市早苗政調会長は「面白いアイデアを出していただけるのではないかと述べた。」

『平成二十五年十月五日 朝日新聞朝刊 四面抜粋』

農林部会長に元経産官僚

自民官邸主導で起用へ

自民党の農業政策のまとめ役となる農林部会長に、元経産省省官で、「小泉改革」にも携った斎藤健衆議院議員の起用が固まった。同氏は農政との関わりは薄いとされているが、党内では、農業改革を目指す首相官邸主導の起用との見方が広がっており、農林族議員の間に警戒感も広がっている。

農業改革推進狙う

農林部会は農業団体やバックに有力部会の一つで、党の13部会の中でも活発な予算獲得活動などで知られる。部会長だった小里泰弘衆議院議員（鹿児島4区）が農水政務官に就任し

たことに伴い、斎藤氏の起用が固まった。

斎藤氏は衆院千葉7区選出で当選2回。官僚時代に小泉政権下の行政改革推進事務局で道路公団民営化などの特殊法人改革に取り組

むなど、規制改革志向が強いとされる。2012年1月に自身のホームページで「TPP（環太平洋経済連携協定）はあくまでも一つの手段であり、むしろ農業改革を進めるために使えるものは使っていきたい」との姿勢を示している。

異例の起用に、農林部長経験者は「農業や農協の改革を目指す菅義偉官房長官の意向がはたらいた人事だ」と明かす。TPP交渉が山場を迎える時期だけに、農林族議員の中には、経産省色の強い人事を警戒

する声が多く、有力な農林族議員の一人は、党幹部に斎藤氏の起用を再考するようかけ合ったが覆らなかったという。

成長戦略を重視する安倍政権は、「岩盤規制」とされる農協や農地改革をはじめとする農業の抜本改革を重視しており、経産省の立ち位置に近い。政権には、経産省出身の斎藤氏の起用で、こうした改革を進める狙いがあると思われる。

党内では、政策決定に政権の力が強まる「政高党低」に警戒感が強まる。消費税増税に備えた経済対策では、政権が復興法人税の廃止方針を党への根回しなく決定した。政務三役経験者は「党人事も官邸主導でやられては、党内の不満はたまる一方だ」と話す。

（大津智義、足田多陽）

《さいとう健の写真活動報告》



環境大臣政務官として地元の植樹祭に参加。



ニューヨークでの国際会議に出席。



就任最初の農林部会にて挨拶。

メルマガさいとう健

名前・住所の登録不要。
月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。
返信すれば匿名で意見を伝えられます。
<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

やっぱりこの男に!